

ARTLUMBER LIF

インテリアボックス収納 [アートランバー リフ]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



反り・ねじれ厳禁

躯体に使用する木材は乾燥材で垂直な物を選んでご使用ください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

製品図面・パーツセット明細 … 1～4

施工前の確認事項 …… 5

施工手順 …… 5～裏面

リフ90 …… 5～6

シェルフボックスA …… 6～11

シェルフボックスB …… 11

エンドキャップ90 …… 12

ウッドレグ …… 12

シェルフ …… 13～14

エンドパネル …… 14～裏面

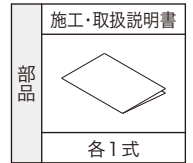
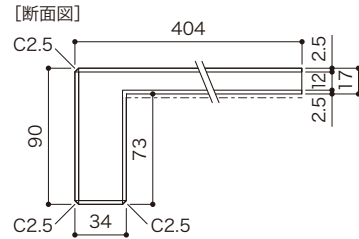
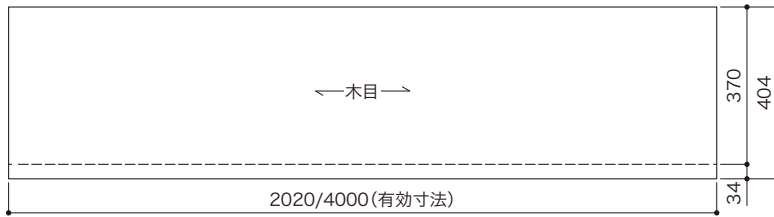
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

本体 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

リフ90

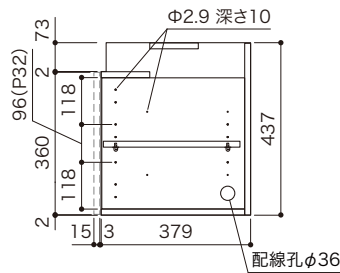
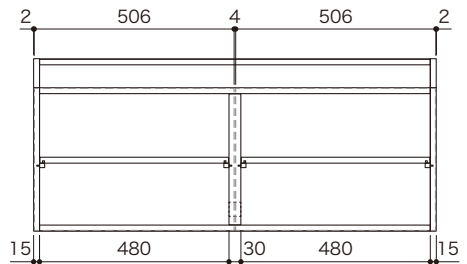
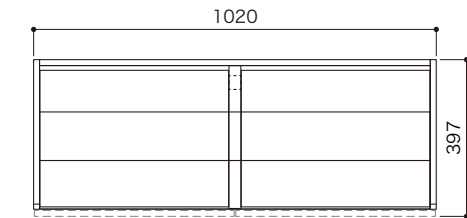
■ 本体



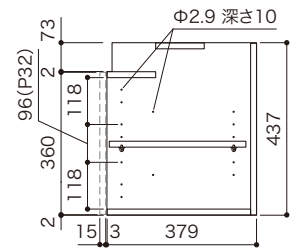
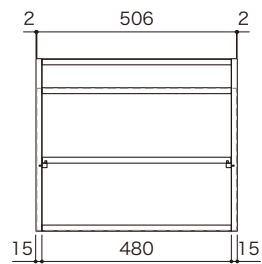
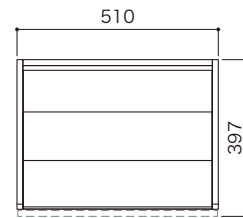
ボックス&扉 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

シェルフボックスA

■ W1020



■ W510

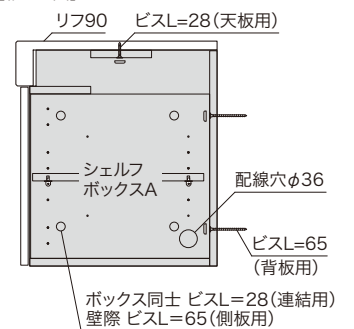


部品	サイズ	ビスL=65	ビスL=28	ビスキャップセット	ツノ付可動棚受セット	ボックス配線孔かくし
	W1020	12本(背8+側4)	7本(天3+連結4)	19セット	8セット	2個
	W510	8本(背4+側4)	6本(天2+連結4)	14セット	4セット	—

[ビス本数表現]

背:背板に対して打つビス/側:側板に対して打つビス/天:天板に対して打つビス/連結:ボックス同士の連結用ビス

[納まり図]



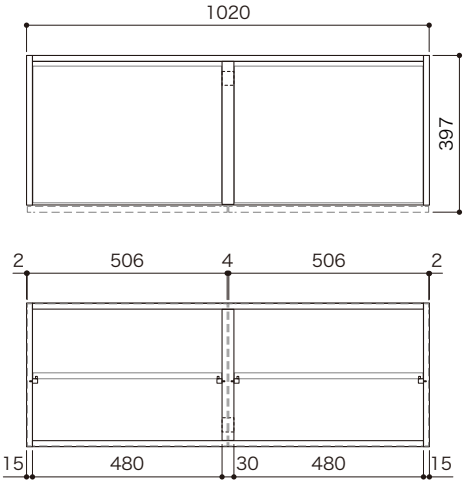
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

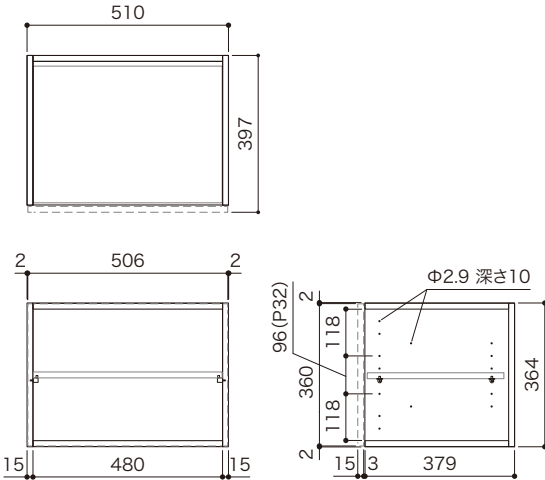
ボックス&扉 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

シェルフボックスB

■ W1020



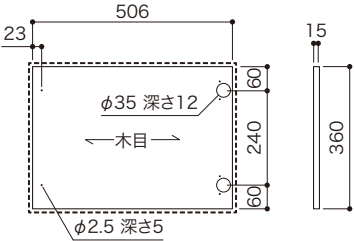
■ W510



部品	サイズ	ビスL=65	ビスL=41	ビスL=28	ビスキャップセット	ツノ付可動棚受セット	ボックス配線孔かくし
		12本(背8+側4)	3本(天)	4本(連結)	19セット	8セット	2個
	W510	8本(背4+側4)	2本(天)	4本(連結)	14セット	4セット	—

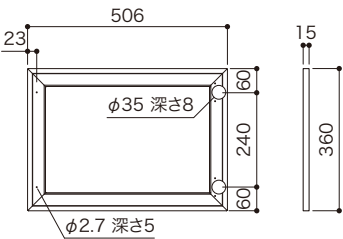
【ビス本数表現】
背:背板に対して打つビス/側:側板に対して打つビス/天:天板に対して打つビス/連結:ボックス同士の連結用ビス

シェルフパネル ※1枚入(左右兼用)



部品	スライドヒンジ	座金	プッシュラッチ	プッシュラッチ受板	薄型面付アタッチメント	ヒンジ用ビスL=13.5	サラビスL=14	トラスビスL=16	ビスL=12
	2個	2個	1個	1個	1個	8本	2本	2本	1本

シェルフアルミパネル ※1枚入(左右兼用)



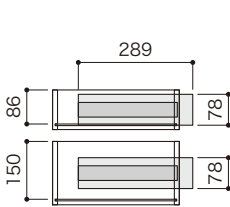
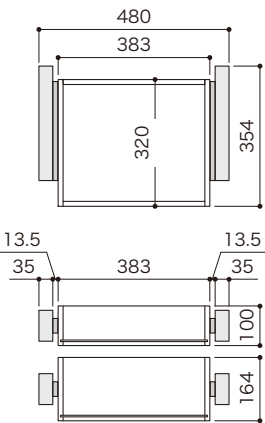
部品	スライドヒンジ	座金	プッシュラッチ	プッシュラッチ受板	薄型面付アタッチメント	ネジL=8	トラスビスL=12	トラスビスL=16	ネジL=8
	2個	2個	1個	1個	1個	4本	4本	2本	1本

製品図面・パーツセット明細

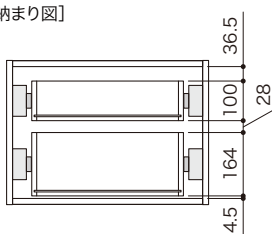
寸法単位:mm

引出し 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

ドロワーユニット



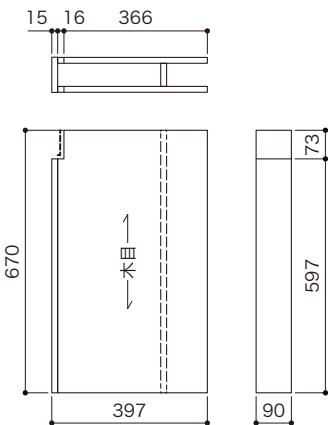
【納まり図】



部品	トラスビスL=45	位置だしピン
	12本	8本

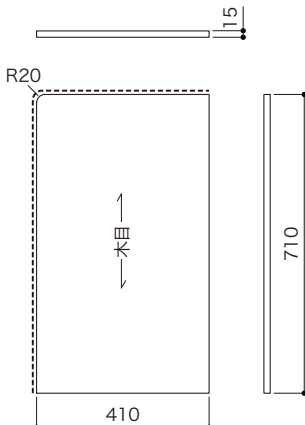
納め材関係 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

ウッドレグ



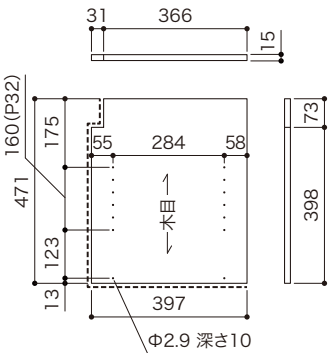
部品	樹脂金具	バインドビスL=16
	4個	8本

エンドパネル



部品	ビスL=28	ビスキャップセット
	4本	4セット

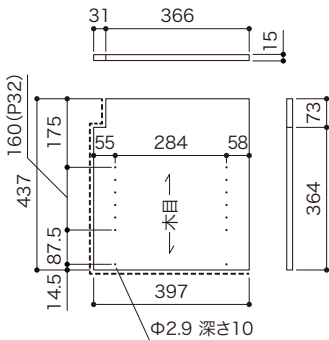
ボックスエンドロング ※左右各1枚入(片面にダボ穴あり)



※図は左用(ボックスエンドを化粧面として使用する場合) 右用は左右反転

部品	ビスL=28	ビスキャップセット
	8本	8セット

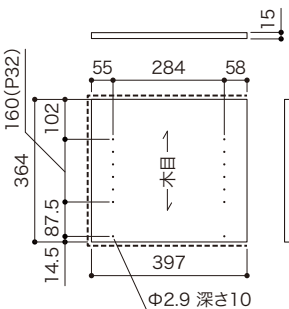
ボックスエンドミディアム ※左右各1枚入(片面にダボ穴あり)



※図は左用(ボックスエンドを化粧面として使用する場合) 右用は左右反転

部品	ビスL=28	ビスキャップセット
	8本	8セット

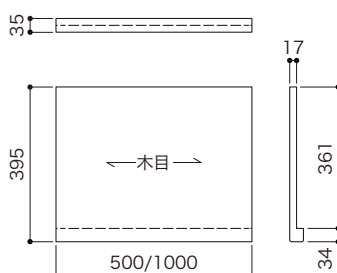
ボックスエンドショート ※左右各1枚入(片面にダボ穴あり)



※図は左用(ボックスエンドを化粧面として使用する場合) 右用は左右反転

部品	ビスL=28	ビスキャップセット
	8本	8セット

シェルフ



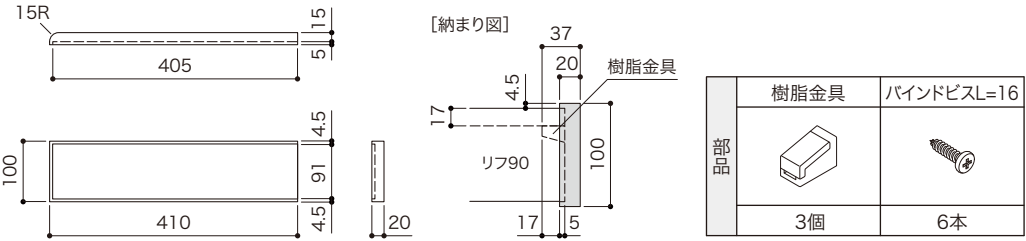
部品	ダボ穴用ピン	耐震用棚板ストッパー
	受本体・ピン	受本体・ビスL=20
	4セット	2セット

製品図面・パーツセット明細

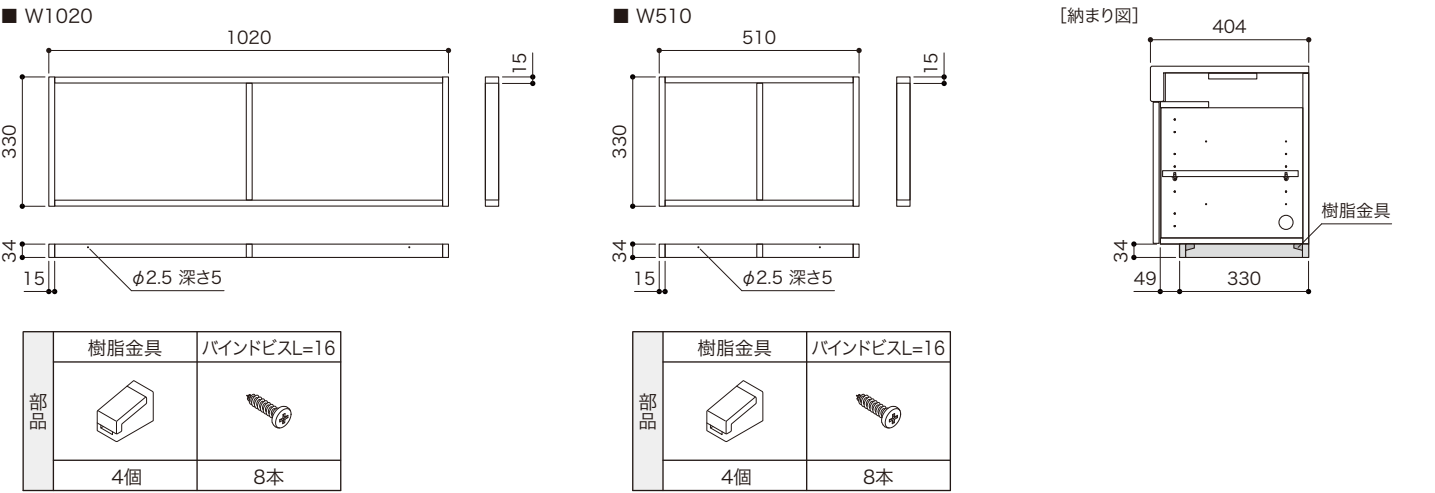
寸法単位:mm

納め材関係 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

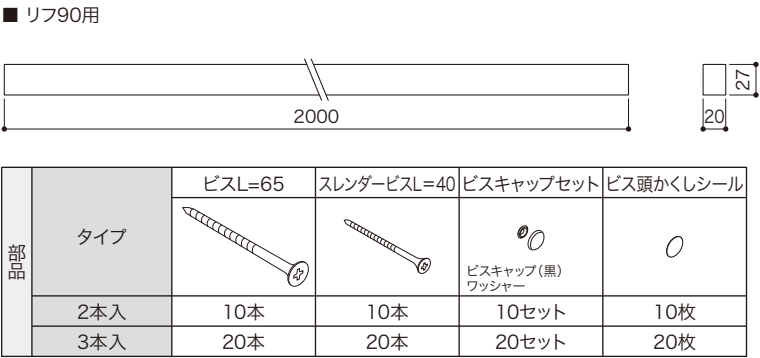
エンドキャップ90



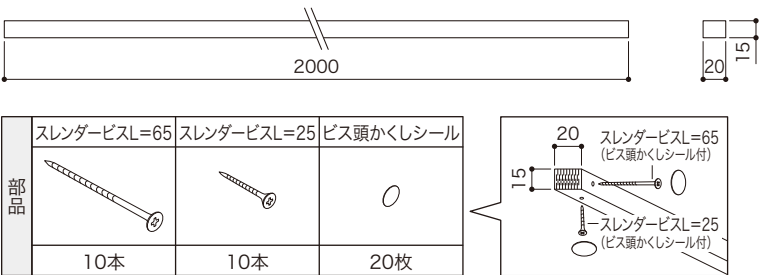
ベースユニット



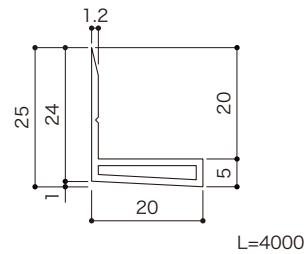
受棧セット



■ シェルフ用

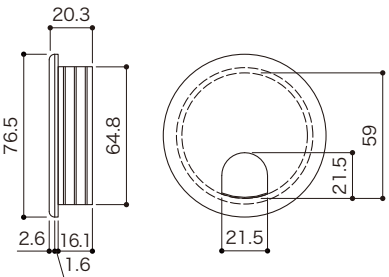


樹脂見切材



その他

配線孔キャップ



施工前の確認事項

寸法単位: mm

- ① 下地補強の確認 受棧および各種ボックスの取り付け位置には12mm厚以上の下地合板による補強が必要です。
- ② 取り付け位置の墨出し リフおよびボックスを取り付ける壁に受棧やボックスの取り付け位置を水平器を使って墨出ししてください。

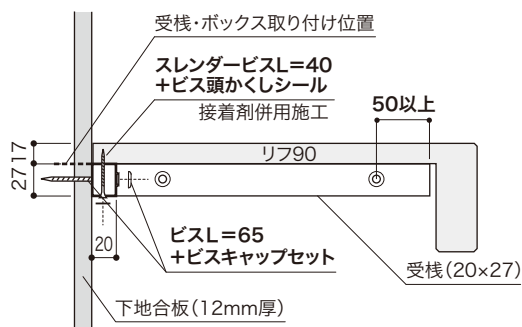
施工手順

寸法単位: mm

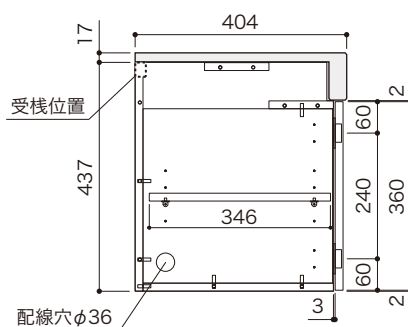
リフ90

確認事項

[側面図] 受棧 (20×27) との納まり



[側面図] シェルフボックスAとの納まり



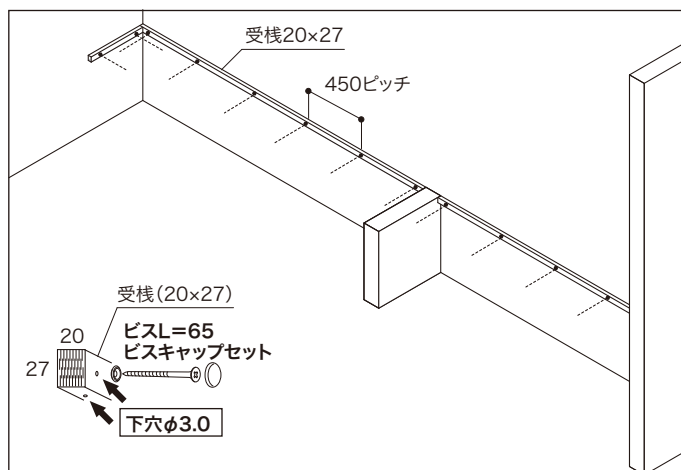
ご注意

- 受棧には必ず下穴 (φ3.0) をあけてからビスを打ってください。(ただし、リフ90には下穴不要)
また、ビス頭と受棧を平行にして、斜め打ちにならないようご注意ください。
- ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打ってください。

1 受棧の取り付け

受棧をビスL=65で墨出し位置に取り付けます。
取り付け向きは上記[側面図]を参照してください。
※受棧は各パーツ(シェルフボックス・ウッドレグなど)を設置した後に、
干渉しない位置に取り付けてください。

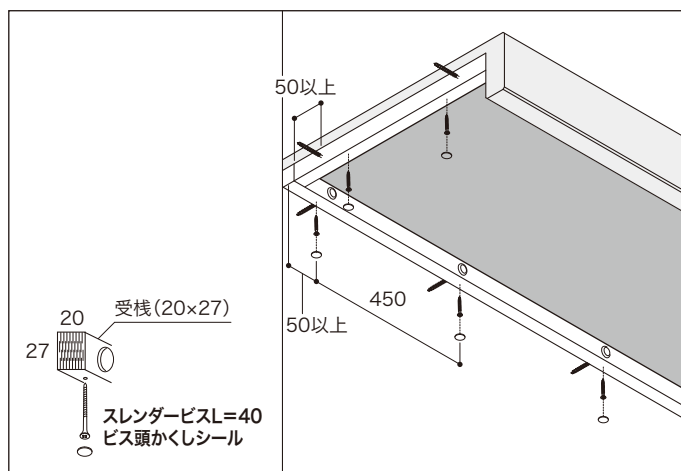
ビス止めピッチ: 450mm以内



2 リフ本体の取り付け

- ① リフ本体を設置位置のワイドサイズに合わせてカットし、受棧の上部にのせます。
- ② 受棧とリフ本体をスレンダービスL=40で接着剤 (酢ビ系・現場調達) 併用にて固定します。

ビス止めピッチ: 450mm以内



配線イメージ図

現場加工 ①

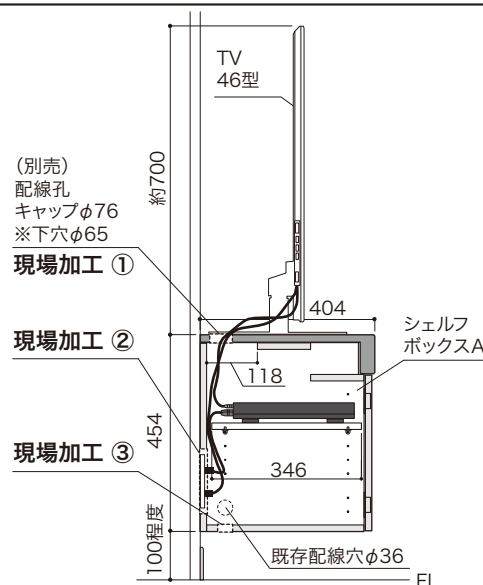
テレビ電源等配線が必要な場合、リフ90への現場穴あけ加工により対応します。
(別売:配線孔キャップあり)

現場加工 ②

ボックス内部にコンセントを設置したい場合は、現場にて背板に穴あけしてください。
※シェルフボックスA内部は右図を参考に配線ください。天板・可動棚板の背面部には配線用の隙間があります。また、仕切板には配線穴φ36があります。

現場加工 ③

シェルフボックスAの床板には配線用の隙間や穴はありません。
現場での穴あけ加工にて対応してください。



シェルフボックスA

確認事項

- シェルフボックスAはリフ90の下部に設置します。リフ90を設置する前に施工してください。
- 関連パーツ(下記パーツに関しても本項にて説明しています)
シェルフパネル/シェルフアルミパネル/ドロワーユニット/ベースユニット/受棧セット/ボックスエンドロング/ボックスエンドミディアム

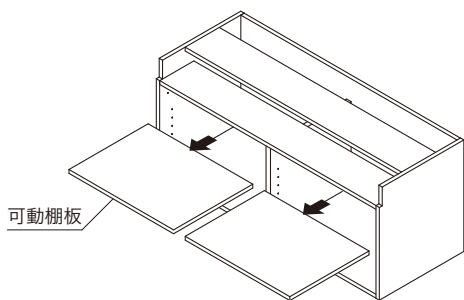
注意

ビス固定位置について以下にご注意ください。また、ビス固定の際は、下穴加工(φ3.0)を推奨します。

- 1) 既存の下穴を使用しない。
- 2) 可動棚板の設置想定位置に干渉しない。
- 3) 扉(シェルフパネル)取り付け座金等に干渉しない。

1 付属部品の取り外し

シェルフボックスは可動棚板などが同梱されています。シェルフボックスの固定前にそれらの付属部品を取り外してください。

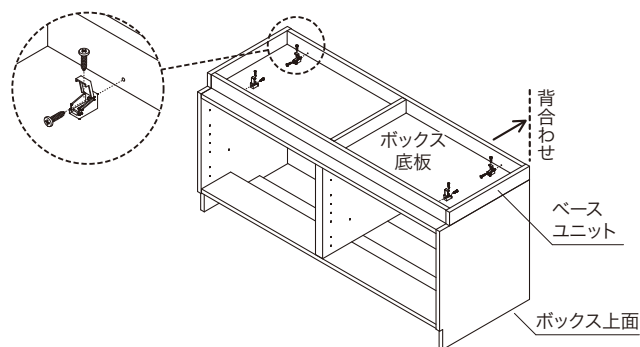


2 ベースユニットの固定(ベースユニット 設置の場合のみ)

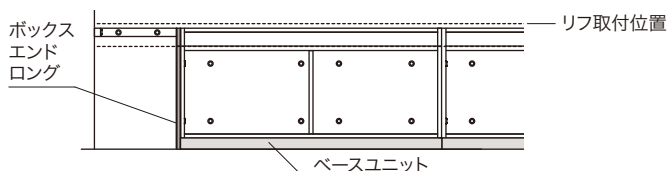
ベースユニットを組み立てシェルフボックスと背合わせで樹脂金具とバインドビスL=16で固定します。

注意

- ベースユニットを施工する場合、ボックスエンドは必ず「ロング」を使用します。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。



ベースユニットとボックスエンドロングの納まり

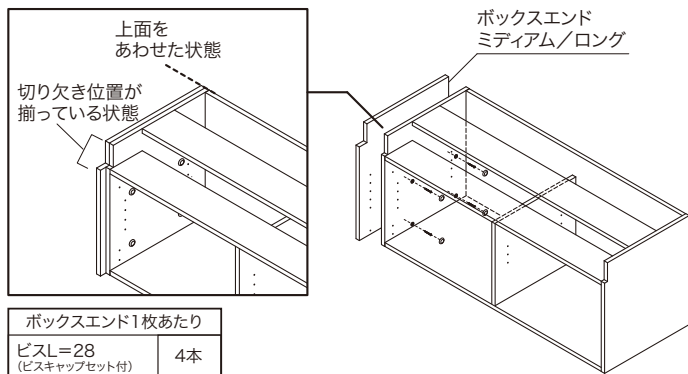


3 ボックスエンドミディアム/ロングの固定

シェルフボックス同士を連結しない側にボックスエンドミディアム/ロングを取り付けます。ボックスエンドに同梱されているビスL=28にワッシャーを取り付け、ボックス内側から固定します。この時、ボックスエンドとボックス側板の上面をあわせた状態で固定します。

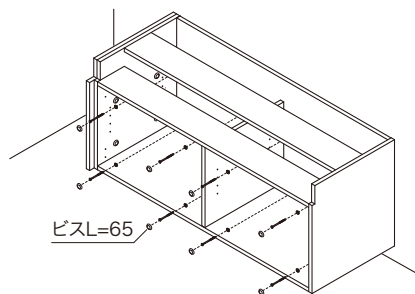
ご注意

ボックスエンドには左右があります。ボックスエンドを化粧面として使用する場合は、ダボ穴のない面を外側にして固定します。ボックスエンドの横に可動棚板を設ける場合は、ダボ穴がある面を外側にして固定してください。



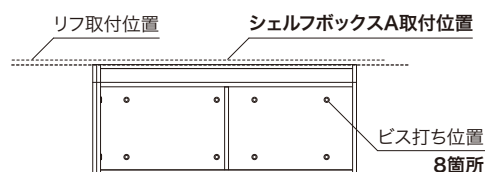
4 シェルフボックスの固定

壁面の墨出し線にシェルフボックスの位置を合わせてビスL=65にワッシャーを取り付け、ボックス内部から背壁に向かって固定します。



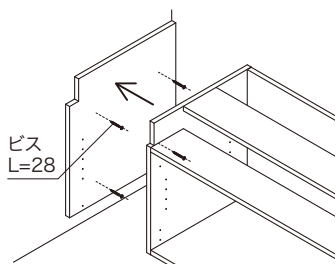
シェルフボックス (W1020)	シェルフボックス (W510)
ビスL=65 (ビスキャップセット付)	ビスL=65 (ビスキャップセット付)
8本	4本

シェルフボックスW1020の場合のビス打ち位置



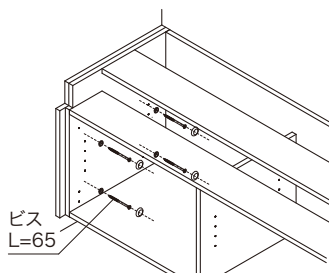
5 壁際のシェルフボックスの固定 (壁際に設置の場合のみ)

- シェルフボックスを壁際に設置する場合、ボックスエンドの壁固定をビスL=28にて行ないます。その際、ワッシャー、ビスキャップは使用しません。



4 シェルフボックスの固定

- と同様に側壁に向かってビスL=65(4本)にて固定します。(ボックスエンドと上面・上部切り欠きをあわす)

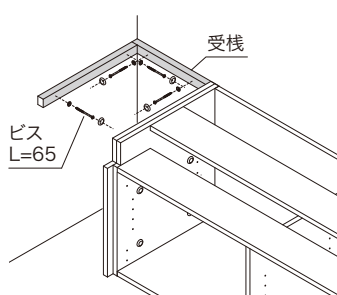


6 受栈の取り付け

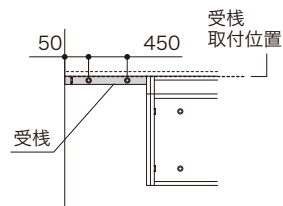
シェルフボックスのない部分に受栈(20×27)を取り付けます。墨出し線に受栈の位置を合わせ、ビスL=65にワッシャーを取り付けて固定します。

ご注意

- 受栈にビスを打つ場合は、必ず事前に下穴(φ3.0)を開けてください。製品が割れるおそれがあります。
- ビスは受栈の端から50mm以上離れた位置に打ってください。



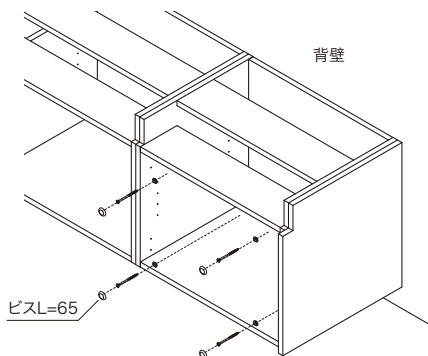
受栈ビス打ち位置



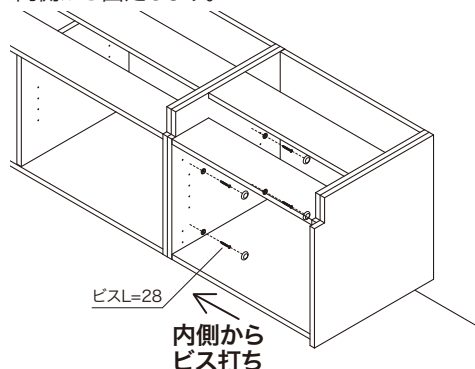
ビス止めピッチ:450mm以内

7 シェルフボックス同士の連結 (ボックス同士を連結設置する場合のみ)

- 4 シェルフボックスの固定と同様に背壁に向かってビスL=65にて固定します。

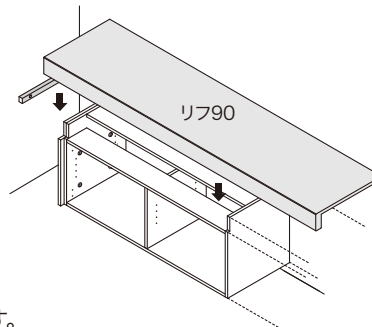


- 3 ボックスエンドミディアム/ロングの固定と同様に、シェルフボックスに同梱されているビスL=28にワッシャーを取り付け、シェルフボックス内側から固定します。



8 リフ90の設置

- 1 背壁および側壁全体にシェルフボックスや受棧が取り付けられていることを確認した後、リフ90を設置位置のワイドサイズに合わせてカットしてのせます。



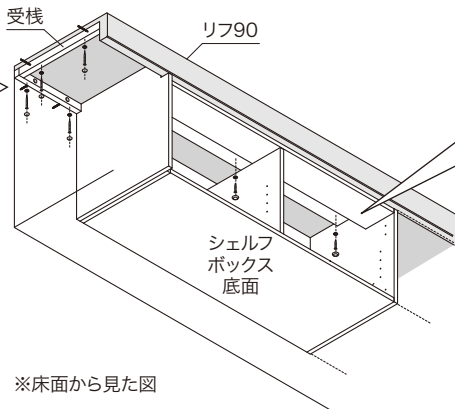
- 2 シェルフボックスとリフ90、受棧とリフ90をそれぞれ付属のビスで下から打ち固定します。

【受棧とリフ】

スレンダービスL=40で接着剤(酢ビ系・現場調達)併用にて下から固定

【注意】

- 受棧にビスを打つ場合は、必ず事前に下穴(φ3.0)を開けてください。製品が割れるおそれがあります。
- ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打ってください。

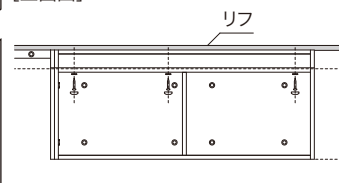


※床面から見た図

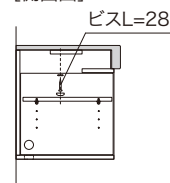
【シェルフボックスとリフ90】 ビスL=28で下から固定

シェルフボックスW1020の場合のビス打ち位置

【正面図】



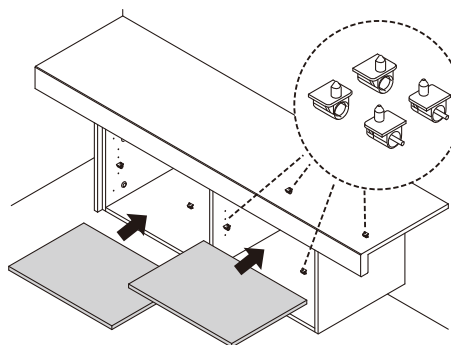
【側面図】



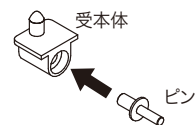
シェルフボックスW1020	シェルフボックスW510
ビスL=28 (ビスキャップセット付)	ビスL=28 (ビスキャップセット付)
3本	2本

9 ボックス内可動棚板の設置 (可動棚板を取り付ける場合のみ)

シェルフボックスに同梱されているツノ付可動棚受セットの受本体にピンを差し込み、シェルフボックス内部のダボ穴に取り付けます。可動棚板のダボ穴とツノをあわせて設置します。



ツノ付可動棚受セット
(受本体・ピン)



10 ドロワーユニットの取り付け (ドロワーユニットを取り付ける場合のみ)

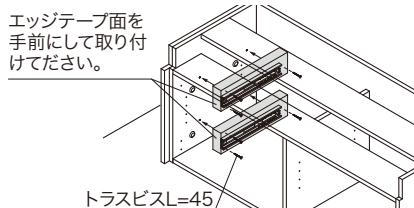
- 1 ドロワーユニット側板の裏面にあるダボ穴2箇所へ位置だしピンを取り付けます。
- 2 ドロワーユニット側板に取り付けた位置だしピンを側板(仕切板)のダボ穴に差し込み、その後、トラスビスL=45で側板を固定します。

【正面図】



位置だしピン
ダボ穴へ取り付け
(2箇所)

エッジテープ面を
手前にして取り付
けてください。



トラスビスL=45

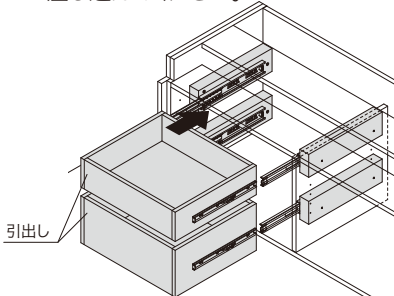
ドロワーユニット側板ビス打ち位置

【正面図】

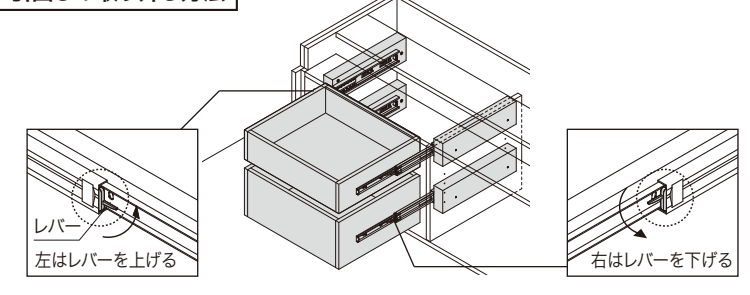


トラスビスL=45
ビス打ち位置
ドロワーユニット側板
1枚につき3箇所固定

- 3 最後に引出しをスライドレールに差し込んでください。



引出しの取り外し方法



11 シェルフパネルの取り付け・調整方法 (シェルフパネルを設置する場合のみ)

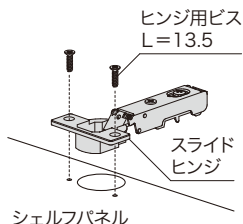
ご注意

シェルフパネルは左右共通品です。上下反転させて使用します。

- 1 シェルフパネルにスライドヒンジを同梱のビスで1枚につき2箇所取り付けます。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止

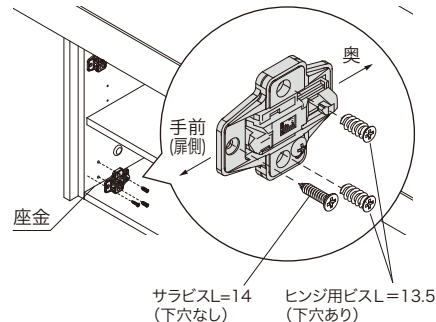


- 2 シェルフボックスの側板のダボ穴に座金を同梱のビスで側板1枚につき3箇所取り付けます。

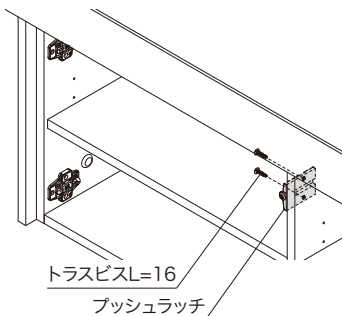
ご注意

電動式ドライバー使用禁止

※ヒンジ用ビスL=13.5のみ



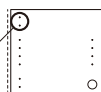
- 3 仕切板(シェルフボックス(W510)の場合は側板)のダボ穴にプッシュラッチをトラスビスL=16で取り付けます。



プッシュラッチ取り付け位置

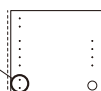
リフ90に取り付ける場合

上部のダボ穴に取り付け

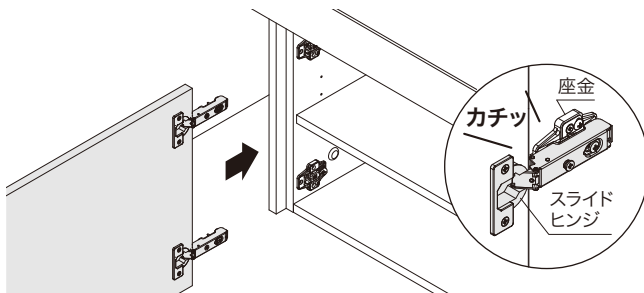


上部収納として取り付ける場合

下部のダボ穴に取り付け



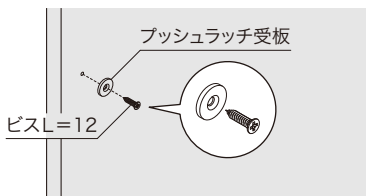
- 4 シェルフパネルを持ち上げ、座金にスライドヒンジを取り付けます。カチッと音がするまで押し込んでください。



- 5 プッシュラッチ受板をシェルフパネルのダボ穴へ取り付けます。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止



プッシュラッチ受板取り付け位置

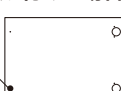
リフ90に取り付ける場合

上部のダボ穴に取り付け



上部収納として取り付ける場合

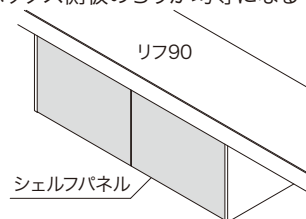
下部のダボ穴に取り付け



- 6 シェルフパネルを取り付け後、シェルフパネルとシェルフボックス側板のちりが均等になるように調整を行ないます。

ご注意

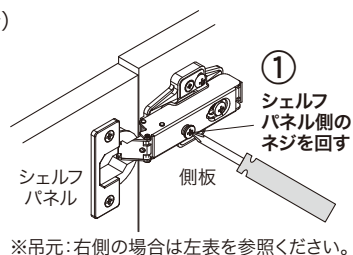
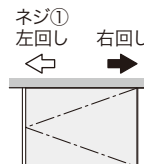
シェルフパネルの調整後必ず2〜3回開閉し、確実に閉まっていることをご確認ください。



シェルフパネルの左右の位置を調整 (吊元: 左側の場合)

①のネジを左右に回してシェルフパネルの左右の位置を調整してください。

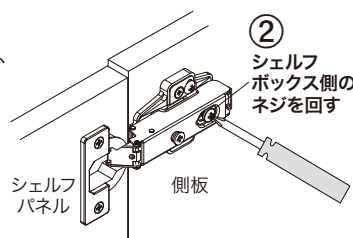
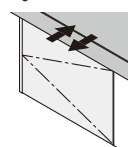
吊元	ネジ①	シェルフパネル
左側	右回し ➡	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し ➡	左に動く
	左回し ⇐	右に動く



※吊元: 右側の場合は左表を参照ください。

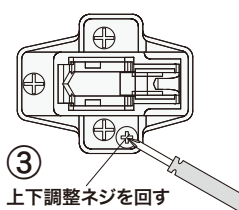
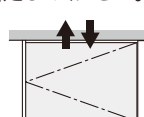
シェルフパネルとシェルフボックスの隙間を調整

②のネジをゆるめシェルフパネルを前後に動かして調整し、適正な位置で締め直して固定してください。



シェルフパネルの上下を調整

座金にある③のネジをゆるめシェルフパネルを上下に動かして調整し適正な位置で締め直して固定してください。



12 シェルフアルミパネルの取り付け・調整方法 (シェルフアルミパネルを設置する場合のみ)

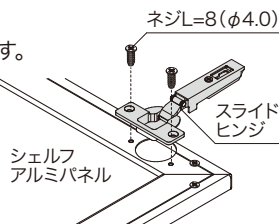
ご注意

シェルフアルミパネルは左右共通品です。上下反転させて使用します。

- 1 シェルフアルミパネルにスライドヒンジを同梱のビスで1枚につき2箇所取り付けます。

ご注意

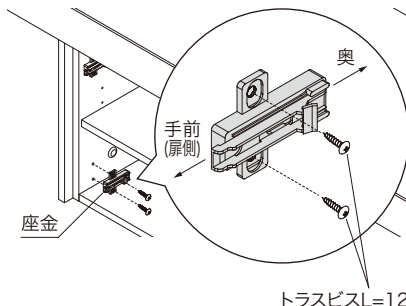
電動式ドライバー使用禁止



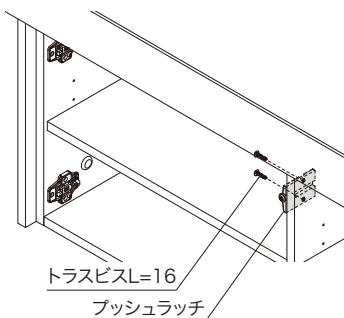
- 2 シェルフボックスの側板のダボ穴に座金を同梱のビスで側板1枚につき2箇所取り付けます。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止



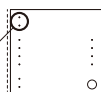
- 3 仕切板(シェルフボックス(W510)の場合は側板)のダボ穴にプッシュラッチをトラスビスL=16で取り付けます。



プッシュラッチ取り付け位置

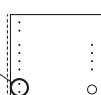
リフ90に取り付ける場合

上部のダボ穴に取り付け

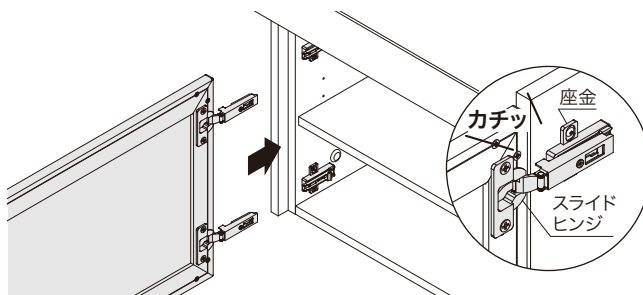


上部収納として取り付ける場合

下部のダボ穴に取り付け



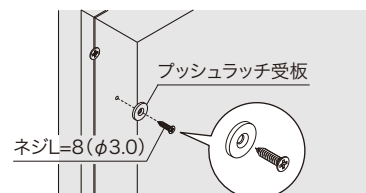
- 4 シェルフアルミパネルを持ち上げ、座金にスライドヒンジを取り付けます。カチッと音がするまで押し込んでください。



- 5 プッシュラッチ受板をシェルフアルミパネルのダボ穴へ取り付けます。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止



プッシュラッチ受板取り付け位置

リフ90に取り付ける場合

上部のダボ穴に取り付け



上部収納として取り付ける場合

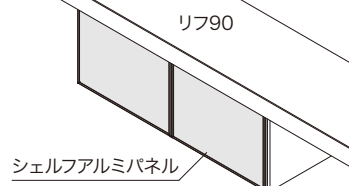
下部のダボ穴に取り付け



- 6 シェルフアルミパネルを取り付け後、シェルフアルミパネルとシェルフボックス側板のちりが均等になるように調整を行います。

ご注意

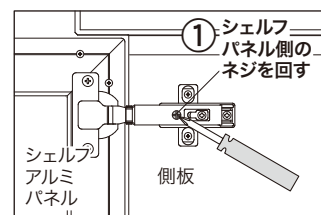
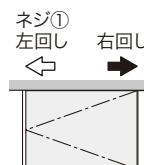
シェルフアルミパネルの調整後必ず2~3回開閉し、確実についていることをご確認ください。



シェルフアルミパネルの左右の位置を調整 (吊元: 左側の場合)

①のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	シェルフアルミパネル
左側	右回し ➡	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し ➡	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

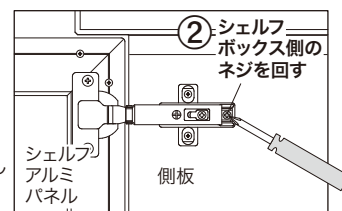
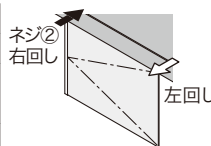


※吊元: 右側の場合は左表を参照ください。

シェルフアルミパネルとシェルフボックスの隙間を調整

②のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの前後の位置を調整してください。

吊元	ネジ②	シェルフアルミパネル
左側	右回し ➡	奥に動く
	左回し ⇐	手前に動く
右側	右回し ➡	奥に動く
	左回し ⇐	手前に動く

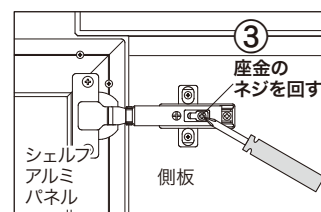
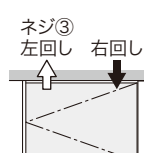


※吊元: 右側の場合は左表を参照ください。

シェルフアルミパネルの上下を調整

座金にある③のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの上下の位置を調整してください。

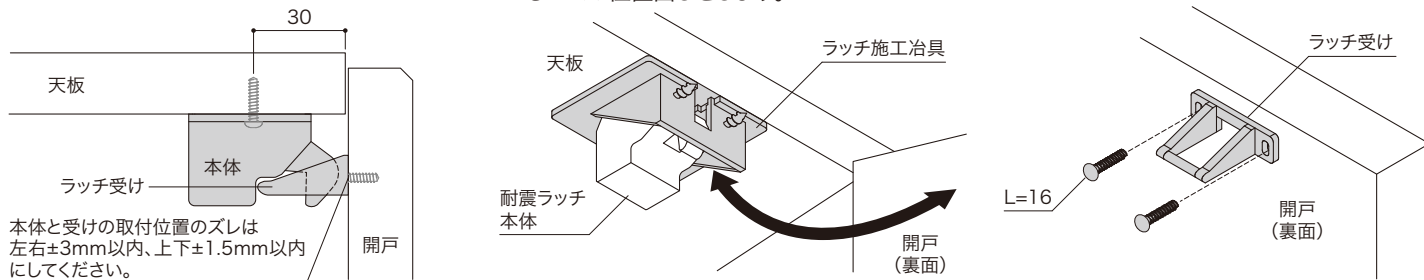
吊元	ネジ③	シェルフアルミパネル
左側	右回し ➡	下がる
	左回し ⇐	上がる
右側	右回し ➡	下がる
	左回し ⇐	上がる



※吊元: 右側の場合は上表を参照ください。

13 耐震ラッチの取り付け (耐震ラッチを設置する場合のみ)

- 耐震ラッチ本体を同梱のビスL=16で取り付けます。(下図参照)
※W方向は任意の位置とします。
- ラッチ施工治具を耐震ラッチ本体に組み合せ、その状態で開戸を閉め、ラッチ受けを取り付けるビスの位置出しをします。
- ラッチ施工治具で位置出しをした部分にビスL=16(2本)でラッチ受けを取り付けてください。



シェルフボックスB

確認事項

- シェルフボックスBは上部収納として設置します。
- 関連パーツ(下記パーツに関しても本項にて説明しています)
シェルフパネル/シェルフアルミパネル/ドロワーユニット/ボックスエンドショート

ご注意

- リフ90の下部にはシェルフボックスBは設置できません。
- ビス固定位置について以下にご注意ください。また、ビス固定の際は、下穴加工(φ3.0)を推奨します。
1)既存の下穴を使用しない。 2)可動棚板の設置想定位置に干渉しない。 3)扉(シェルフパネル)取り付け座金等に干渉しない。

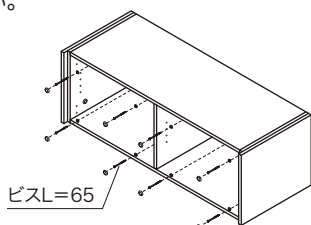
1 付属部品の取り外し

シェルフボックスA **1 P6** と同様です。

3 シェルフボックスの固定

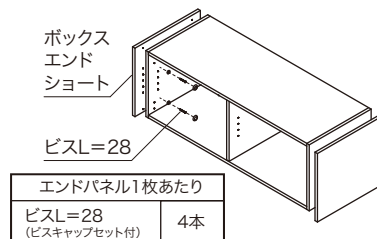
壁面の墨出し線にシェルフボックスの天板を合わせて壁に固定します。ビスL=65にワッシャーを取り付け、シェルフボックス内部から壁に向かって打ってください。

シェルフボックスW1020	
ビスL=65 (ビスキャップセット付)	8本
シェルフボックスW510	
ビスL=65 (ビスキャップセット付)	4本



2 ボックスエンドショートの固定

シェルフボックス同士を連結しない側にはすべてボックスエンドショートを取り付けます。ボックスエンドショートに同梱されているビスL=28にワッシャーを取り付け、ボックス内側から固定します。



ご注意

ボックスエンドには左右があります。ボックスエンドを化粧面として使用する場合は、ダボ穴のない面を外側にして固定します。ボックスエンドの横に可動棚板を設ける場合は、ダボ穴がある面を外側にして固定してください。

幅のせまいシェルフ(W=300mm以下程)を上部収納としてボックス横に設置する場合、上下棚板用の受皿をボックスエンドショートへ先に取り付けてからボックスに固定します。
(「**シェルフ** 床面に設置する場合 **P13** 参照)

4 壁際のシェルフボックスの固定(壁際に設置の場合のみ)

シェルフボックスA **5 P7** と同様です。

6 ボックス内可動棚板の設置

シェルフボックスA **9 P8** と同様です。

5 シェルフボックス同士の連結(ボックス同士を連結設置する場合のみ)

シェルフボックスA **7 P7** と同様です。

7 シェルフパネルの取り付け(シェルフパネルを取り付ける場合のみ)

シェルフボックスA **11 P9** と同様です。

8 シェルフアルミパネルの取り付け(シェルフアルミパネルを設置する場合のみ)

シェルフボックスA **12 P10** と同様です。

エンドキャップ90

確認事項

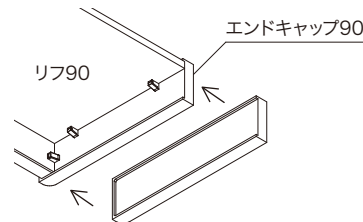
□エンドキャップ90はエンド側から300mm以内に必ず補強パーツがあることを確認してください。

エンドキャップの取り付け

リフ本体の木口にエンドキャップをはめ込み裏側から樹脂金具+バインドビスL=16で固定します。

ご注意

- エンドキャップへの飲み込みが5mmあります。リフ90を設置する際にご注意ください。
- ビス固定の際は、下穴加工(φ3.0)を推奨します。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。



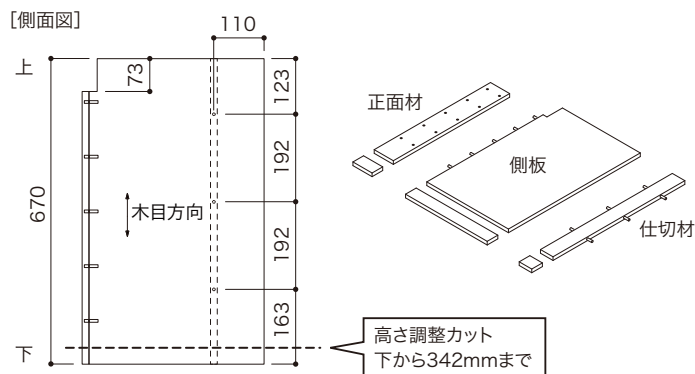
ウッドレグ

1 パーツのカット

リフ本体を取り付ける高さ寸法に合わせて各パーツをカットします。

ご注意

- 高さ調整のカットは、図面にて木ダボ位置等より各パーツの上下を確認し、下側からカットします。
- 最大カット可能寸法は下から342mmです。



2 ウッドレグの固定

1 片方の側板と仕切材を木ダボ+接着剤※で固定します。

2 その側板を取り付け位置に合わせて樹脂金具+バインドビスL=16で床に取り付けます。

ご注意

- 樹脂金具はウッドレグの内側で取り付けるようにしてください。
- ビス固定の際は、下穴加工(φ3.0)を推奨します。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。

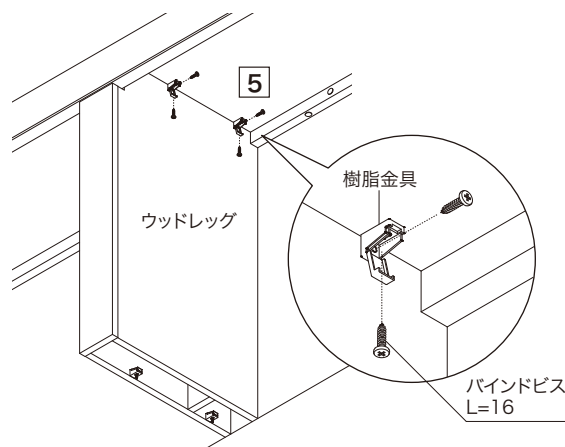
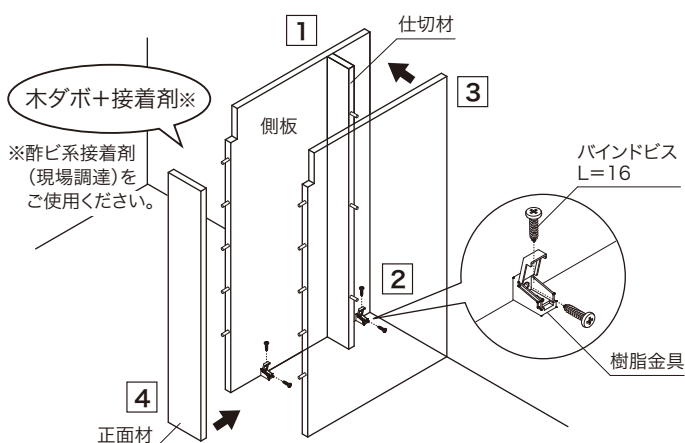
3 仕切材にもう片方の側板を木ダボ+接着剤※で固定します。

4 取り付けた両側板に正面材を木ダボ+接着剤※で固定します。

5 ウッドレグの側板上部からリフ本体裏側に向かって樹脂金具+バインドビスL=16で固定します。

ご注意

- ビス固定の際は、下穴加工(φ3.0)を推奨します。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。



シェルフ

確認事項

- シェルフを棚板として設置する場合、両側には必ずボックスエンド(もしくは側面躯体壁に取り付け)の下穴があることが必須条件です。
また、ボックスエンドのみでシェルフの固定はできません。ボックスエンドをシェルフボックスや壁などに固定する必要があります。

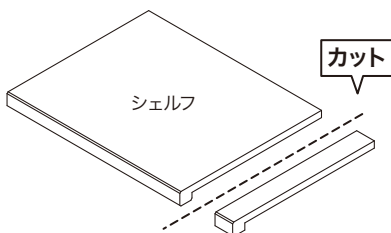
リフ下部の可動棚として設置する場合

注意

シェルフボックス+ボックスエンド(壁際の場合は側壁へボックスエンド)を設置してからシェルフの取り付けを行ってください。

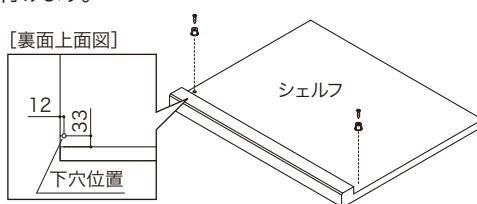
1 パーツのカット

シェルフを取り付ける間口に合わせてシェルフをカットします。



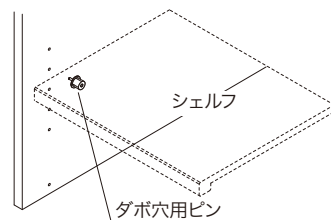
2 耐震用棚板ストッパーの取り付け

シェルフの裏面2箇所に下穴加工(下穴位置は下図参照)し、耐震用棚板ストッパーをビスL=20で取り付けます。



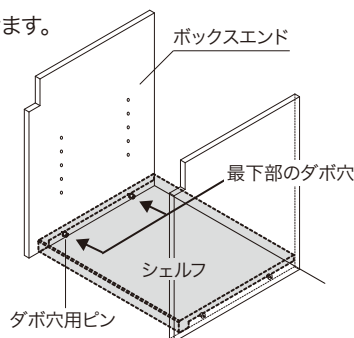
3 シェルフの設置

ボックスエンドのダボ穴にダボ穴用ピンを差し込みシェルフをのせます。



床面に設置する場合

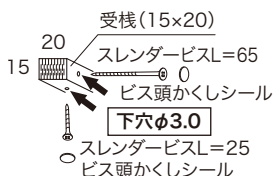
ボックスエンドの最下部のダボ穴にダボ穴用ピンを差し込み、シェルフをのせます。



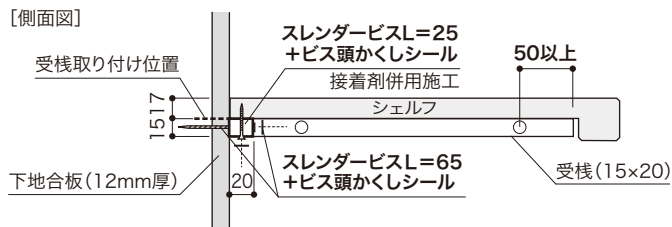
上部収納の棚板として設置する場合

注意

- シェルフボックスB+ボックスエンドショート(壁際の場合は側壁へボックスエンドショート)を設置してからシェルフの取り付けを行ってください。 ※幅の狭いシェルフを設置する場合は下記、**幅の狭いシェルフを上部に設置する場合** をご確認ください。
- 受栈には必ず下穴(φ3.0)をあけてからビスを打ってください。(ただし、シェルフには下穴不要)また、ビス頭と受栈を平行にして、斜め打ちにならないようご注意ください。

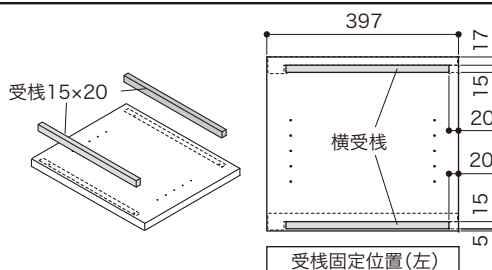


- ビスは受栈の端から50mm以上離れた位置に打ってください。



幅の狭いシェルフを上部に設置する場合

幅の狭いシェルフ(W=300mm以下程)をボックス横に設置する場合、上下棚板用の横受栈をボックスエンドショートに先に取り付けてからボックスに固定します。



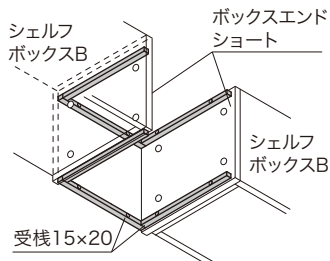
施工手順

寸法単位:mm

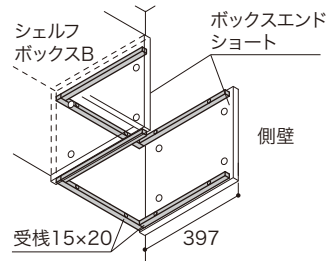
1 受棧の取り付け

受棧をスレンダービスL=65で墨出し位置に取り付けます。
取り付け向きは **ご注意** [側面図] **P13** を参照してください。
※受棧は各パーツ(シェルフボックスなど)を設置した後に、干渉しない位置に取り付けてください。

ボックス間に設置する場合

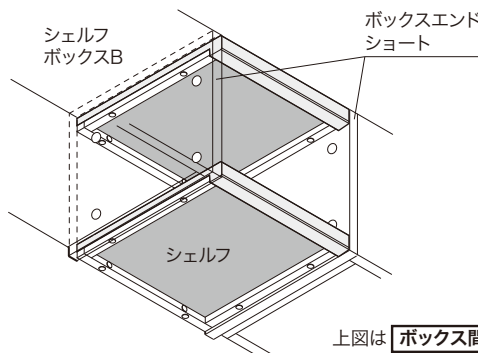


ボックス・側壁間に設置する場合



2 シェルフの取り付け

シェルフの幅、奥行を現場に合わせてカットし、受棧の上にのせてスレンダービスL=25で接着剤(酢ビ系・現場調達)併用にて固定します。
※上下のシェルフは固定になりますが、その間には可動棚板(**リフ下部の可動棚として設置する場合** **P13** 参照)を設置することができます。



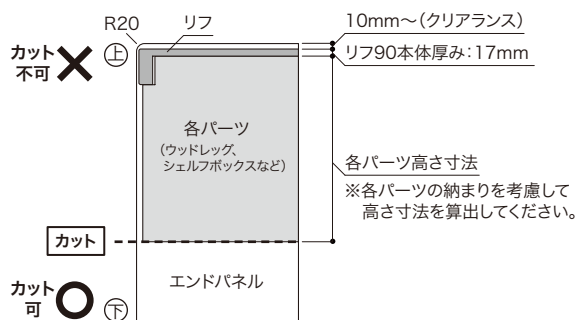
上図は **ボックス間に設置する場合** を表記

エンドパネル

確認事項

ご注意

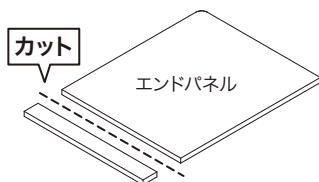
- エンドパネルには上下があります。間違いのないようご注意ください。
 - エンドパネルをカットする場合、右図を参考にカットしてください。
 - ビス固定位置について以下にご注意ください。
また、ビス固定の際は、下穴加工(φ3.0)を推奨します。
- 1) 既存の下穴を使用しない。
 - 2) 可動棚板の設置想定位置に干渉しない。
 - 3) 扉(シェルフパネル)取り付け座金等に干渉しない。



ウッドレグとあわせて施工する場合

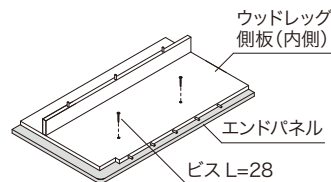
1 パーツのカット

リフ本体を取り付ける高さ寸法に合わせてパネルをカットします。
(上記、**確認事項** 参照)



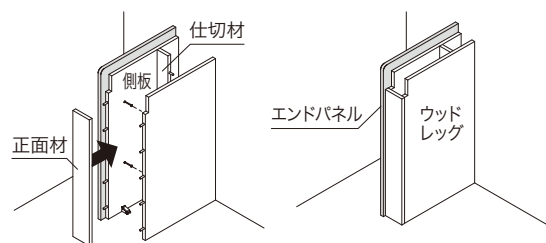
2 エンドパネルの取り付け

ウッドレグを組み立てる前に、ビスL=28でエンドパネルをウッドレグ側板に固定します。



3 ウッドレグの組み立て

ウッドレグ **P12** と同様です。

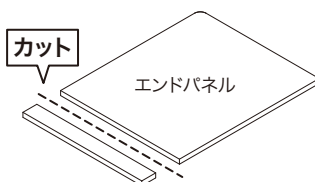


ボックス横に設置する場合

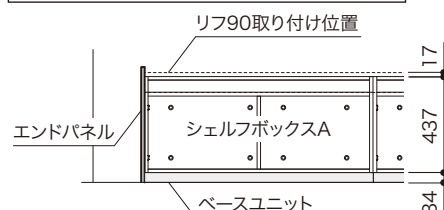
1 パーツのカット

リフ本体を取り付ける高さ寸法に合わせてパネルをカットします。
(上記、**確認事項** 参照)

※右図 **ベースユニットとエンドパネルの納まり** 参照



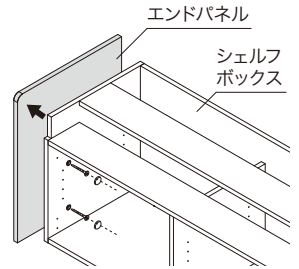
ベースユニットとエンドパネルの納まり



2 エンドパネルの取り付け

1 シェルフボックスにベースユニットを取り付けます。
シェルフボックスA 2 P6 と同様です。

2 ビスL=28でシェルフボックス内側よりワッシャーを通してエンドパネルをシェルフボックスに固定します。



3 シェルフボックスを背壁に固定します。
シェルフボックスA 4 P7 と同様です。

4 リフ本体を設置・固定します。
シェルフボックスA 8 P8 と同様です。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名: インテリアボックス収納
アートランバーリフ

製造者名称: 南海プライウッド(株)

発散区分: F☆☆☆☆

(下地部分: F☆☆☆☆)

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号: 製品梱包に記載

この製品は以下の建築材料で構成されています。

- 構成材料 -

内装仕上部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

部材・部位	材料名	表示区分	認定・ 登録種類	認定・ 登録番号	認定登録機関
リフ・シェルフ	Vカット棚板	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002444	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
シェルフボックス・ ドロワーユニット	MDF、パーティクルボード、 合板、接着剤	F☆☆☆☆	住宅表示ガイドラインに基づく		
シェルフパネル・ エンドパネル・ ボックスエンド	オレフィン化粧ランバー	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002704	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先: 品質管理チーム 087-894-8025